

この添付文書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。

葛根湯エキス配合のかぜ薬

コン・クール（カプセル製剤）



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

- 次の人は服用しないでください
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
（眠気があらわれることがあります。）
- 服用時は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある小児（15歳未満）。
(4) 高齢者。
(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(7) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
(8) 次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス・ジョンソン症候群）、 中毒性表皮壊死症 （ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。
間質性肺炎	空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。（これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。）
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合
- 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
口のかわり

成分・分量

1 日量 6 カプセル(1 カプセル 335 mg) 中

成 分	分 量	葛根湯乾燥エキス…… 670mg
アセトアミノフェン	400mg	(カッコン …… 2144mg シャクヤク …… 804mg) マオウ …… 1072mg カンゾウ …… 536mg タイソウ …… 1072mg ショウキョウ …… 268mg ケイヒ …… 804mg 原生薬として6700mgに相当する。
エテンザミド	400mg	
無水カフェイン	150mg	
マレイン酸クロルフェニラミン	7.5mg	
クエン酸チペピジン	45mg	

添加物として、結晶セルロース、カルメロースカルシウム、軽質無水ケイ酸、ゼラチン、酸化チタン、ラウリル硫酸ナトリウム、色素(青色1号、赤色3号、黄色5号)を含みます。

効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和。

用法・用量

次の量を、食後なるべく30分以内に服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15歳以上）	2 カプセル	3 回
15歳未満7歳以上	1 カプセル	
7 歳未満	服用しないでください	

《用法・用量に関連する注意》

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。

(誤用の原因になったり、品質が変わります。)

- (4) 配置期限(外箱に記載)を過ぎた製品は服用しないでください。
- (5) カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部分を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



〈お問い合わせ先〉

本剤についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

美吉野製薬株式会社

電話番号 0745-67-0144

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

発売元 **新生薬品工業株式会社**
奈良県高市郡高取町清水谷1269

製造販売元 **美吉野製薬株式会社**
奈良県吉野郡大淀町大岩692